

＜学習指導案＞

<p><b>タイトル「あなたなら どうする？」</b></p>			
<p><b>ねらい：</b>子どもたちが、新型コロナウイルス感染症についての悪口やいやがらせ等を互いにしないようにするために、自分ができることを考える。</p>			
<p><b>対象：</b>小学校 低学年</p>			
<p><b>資料名：</b>・人権教育教材集・資料 CD「いま どんなきもち」</p>			
<p><b>配慮すること：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスに感染した子どもや家族等がいる場合は、事前に学習内容やねらいを家庭に伝え、理解を得る。</li> <li>・授業中も、本人の表情を丁寧に把握し、変わった様子があれば対応する等、配慮して進める。</li> <li>・安心ルール「傾聴（よくきく）・守秘（ひみつをまもろう）・パスOK（言いたくないことは言わなくてよい）」を確認したうえで、学習を進める。</li> </ul>			
	学習活動	発問と予想される子どもの反応	指導上の留意点
導入	<p>◎「あなたなら どうする？ーいま どんなきもちー」から絵を一つ選び、今の気持ちを発表する。</p>	<p>今 みんなはどんな気持ちですか？みんなの気持ちに一番近い絵を選んで、その気持ちを伝えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ほんわか</u>です。理由は、学校で友だちに会えるからです。(⑬)</li> <li>・<u>はあ</u>です。理由は、体育で水泳の授業がないからです。(⑤)</li> <li>・<u>ムカつく</u>です。理由は、夏休みが少ないからです。(⑮)</li> <li>・<u>いややあ</u>です。理由は、コロナウイルスにかかるのがいやだからです。(⑯)</li> <li>・<u>イライラ</u>です。理由は、マスクをつけないといけないからです。(⑳)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どの絵を選んでもよいこと」「どんな気持ちでも間違いではないこと」を伝える。</li> <li>・絵を一つ以上選びたい子どもがいれば選ばせる。</li> <li>・指導者は子どもの発表ひとつひとつにコメントを加える。また、指導者のエピソードも加える等、共感する。</li> <li>・自分の気持ちを言葉で伝えるよさをおさえる。</li> </ul>
	<p>◎コロナウイルスに関わる日常の事象について考える。</p> <p>◎イラストを見て、くまん、きつねさん、それぞれの気持ちを考え、発表する。</p>	<p>○月○日 (○)      なまえ (くま)</p> <p>きのう、わたしは やすみじかに きょうしつで ゴホゴホ と せきを しました。</p> <p>そのとき きつねさんが わたしを みながら 「あいつ コロナちゃうか？ やばい！」 と 大きなこえで いいました。</p> <p>わたしは なきました。</p> <p>くまんさん (わたし)、きつねさんは、どんな気持ちでしょうか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなに紹介したい日記があるよ。」と、黒板に日記を示し、指導者が読み上げる。</li> <li>・実際にクラス等で同じ経験をしたという子どもがいた場合は、よくその時の話を聞いて、事実を確認し、その子どもたちの気持ちを考える流れに切りかえる。</li> <li>・子どもがそれぞれの立場になって考えられるよう、「くまんさんはなぜ泣いたのだろう」「きつねさんはなぜそう思ったのだろう」等のように発問する。</li> </ul>

	<p>◎くまさん、きつねさんに対して、自分ならどのような言葉をかけるか考えてワークシートに記入し、発表する。</p>	<p>【くま】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咳をただけで、「コロナちゃうか」と言われて悲しい。</li> <li>・大きな声で周りに聞こえるように「コロナちゃうか」と言われて腹が立つ。</li> <li>・「あいつ やばい」と言われて、いやな気持ちになった。</li> </ul> <p>【きつね】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咳をしたから、いやだったから言った。</li> <li>・咳をしたので、ふざけて言った。</li> <li>・咳でコロナがうつると聞いたので、やめてほしいから言った。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あなたが、その場にいたら、くまさん、きつねさんに、どんな言葉をかけますか。</p> </div> <p>【くまさんに対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泣かないでね。元気を出してね。一緒に遊ぼう。</li> <li>・いじわるされたら助けるから言ってね。</li> <li>・しんどいときは、咳をしてもいいんだよ。</li> </ul> <p>【きつねさんに対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咳をただけでコロナとかいうのはおかしいよ。</li> <li>・私も、「コロナちゃうか」と言われたらいややから、やめてほしい。</li> <li>・私も、コロナウイルスをさげたいけど、「コロナちゃうか やばい」と言うのは、あかんと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような意見が出て初めから否定することなく、受け止める。</li> <li>・くまさん、きつねさんのどちらかへの言葉かけでも構わないことを伝える。</li> <li>・子どもの意見は、共感的に受け止める。とりわけ、感染リスクを避けたい気持ちや感染することへの怖れは否定せず、共感する。</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ま と め</p>	<p>◎今日の授業のふりかえりを書く。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>今日の授業をふりかえって、気づいたことを発表しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・咳をしている人やしんどそうにしている人に「コロナちゃうか」と言わないようにする。</li> <li>・コロナが怖いから、これからも、手洗いやマスクをしようと思った。</li> <li>・ふざけて「コロナや」とか言ったら、傷つく人がいるので、やめようと思った。</li> <li>・コロナウイルスのことで不安に思っている人や苦しんでいる人がいるかもしれないから、その人たちの気持ちを考えようと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの発表に対して、「そうだったね」「そのように気づくことができたんだね」等コメントしながら全体で共有できるようにする。</li> <li>・「（新型コロナウイルス感染症に対して）不安があるのは当たり前で、先生も同じだよ。」「秘密は守るので、心配事があれば相談してね。」と、子どもたちが安心して相談できることを伝える。</li> </ul>

◎感染者への励ましのエピソードを紹介する。



#### 【エピソード】

今年の4月、ある保育園の保育士さんが新型コロナウイルスに感染しました。その保育園はその日からしばらくの間、休園となり、その間に保育園の消毒を行いました。

その後、保育園は再開しました。園長先生は、毎朝一番に保育園に行き、心配な気持ちで過ごしていました。

ある日、園長先生は保育園に入るときに、「がんばれ保育園」と書いてある旗に気がつきました。

誰かが保育園を応援するために作って飾ってくれたのです。

園長先生は、うれしい気持ちでいっぱいになり、泣きました。

・「この写真を知っている人はいるかな」と黒板に写真を示す。

・写真にまつわるエピソードを紹介し、ほっとするような、元気になる雰囲気の中、授業を終える。

注：教材で使用する写真は、当該の保育園、小学校に使用許諾をとっていますが、保育園の名前が入っているので、授業以外での活用はしないでください。（転載禁止）